



1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言い年が明けると三月まであつと言う間に過ぎてしまいますね。
さらに年齢を重ねると余計一年が早く経つ様な気がしませんか？大切に時を過ごしたいものです。

年明けにふさわしい和歌をご紹介します。

和歌と言えば百人一首を思い浮かべますがその中には無いうたです。

昨年京都土産の“おかき”を頂きました。

和模様のきれいな包み紙にそれぞれ違う和歌が書かれていたうちの一首です。

どれもめでたい縁起の良い意味のうたですが 一首のみご披露いたします。

若い方にはむずかしい言葉も有ると思いますが 意味を考えながら読んでみて下さい。

注釈 おしなべて・・・全体に、全部、ことごとく

◎ 松 = 何百年も年を経る長寿の木。常緑樹なので葉が青々としている。

そして一説には「神がその木に天降る事をマツ（待つ→松）」

と言われ縁起の良い木である。

◎ 千年=永い年月、いつまでも、『永遠』に近い意味で使われる

簡単に訳すと

冬を越え 春になって薄緑の松の新芽が伸びてきた

これから千年先までもこの色を枝いっぱいにつたえ続けることだろう

雄弱になぞらえ（めたる・あはれる）で 解釈

昨年は大切な小松社長を亡くし心寒い思いもしましたが

その悲しみを越え 新しい年を迎えました。

起業30日年という幹に管理社員の枝が大きく伸び

その枝一杯に新しい人達が芽吹き うす緑～濃い緑に成長し

枯れることなくこの先何年も松の緑を栄えさせ続けることであろう



おしなべて木の芽も春のあさみどり
松になぞらえの色はこもれる

なんと めでたい歌と思いませんか？日本語には一つ一つの言葉に深い意味を持ちそれを読み解くとーそんな意味があったのかーと改めて感慨深くなります。普段の生活に古文は身近ではありませんが、これは京都らしいなあー！と感心しました。訪問先の手土産にはもってこい（最適／ぴったり）のプレゼントだとおもいました。

2月生まれの方 お誕生日 おめでとうございます



阿部様

1日



林様

16日



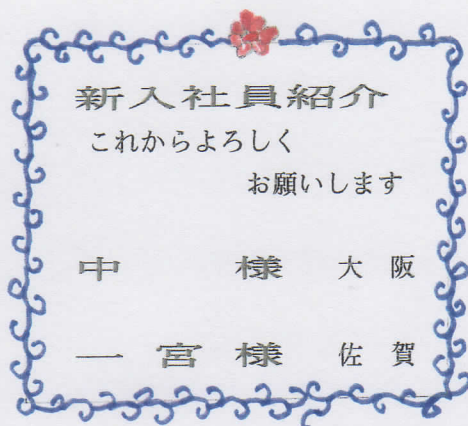
林様

25日





1月10日頃から寒波が到来してここ九州でも寒く雪が降っています。
 暦の上では2月4日が立春なので春はもうすぐかと思いますが
 旧暦で二月は如月（きさらぎ）と言われ着物を更に重ね着しないと寒いと
 言う意味でなのでまだまだ厳しい寒さが続くのではと思います。
 降雪が多く寒い地方の皆様のご苦労が偲ばれます。



暦・こよみ 二月の行事

2月3日 節分（せつぶん・せちぶん）

本来は 立春・立夏・立秋・立冬の前日で季節を分けるという意味で
 年四回有ったが近年は春の節分のみ取り上げられる事が多い。
 炒った大豆（鬼打ち豆）を撒いて鬼を追い出すー邪気を払うということで
 “鬼は外”と言いながら撒いていたが“福は内・福は内”と言って家の中
 に向かって撒く方が良いと言うひともいる。

《いわしの頭も信心から》と言うことわざがある。この日柊（ひイナ）の枝に
 いわしの頭を刺し 軒に下げておくと言え災難を防ぐとの言い伝えから、
 それを信じる人にとってはたとえいわしの頭でもありがたい物という意味。

《恵方巻》（えほうまき）節分の夜 その年の恵方に向けて太巻きすしを
 一本食べると縁起が良いとされ スーパーやコンビニなどで購入できるが
 なかなか一本食べきれない。

ちなみに今年は“北北西”が吉方。（注）間違っても真北に向かない事。真北は暗剣殺と言い一番悪い方角



2月4日 立春（りっしゅん）

こよみの上ではこの日から春。旧暦正月の月で一年の始まりとされていた。
 一番茶摘みや 台風の特異日の210日などはこの日を起点としている。

2月11日 建国記念の日

1872年明治五年神武天皇の即位した日を紀元節として設定されたが戦後廃止。
 1966年建国記念の日として復活。

2016年
英彦山川土手



2月14日 ローマ時代の殉教者ヴァレンチヌスの記念日

英米で恋人たちがカードや贈り物を取り交わす行いがあった。我が国ではあるお菓子メーカーが
 女性から男性にチョコを贈り愛を打ち明けようのCMで今のように広まった（日本のみ）
 現在ではいつもは買わない高級なチョコを自分の御褒美用に購入する女性も多い。



2月19日 雨水（うすい）

降っていた雪が雨となり水がぬるむみ草木が芽吹くと言う意味。気温が少しずつ上がっていく。

- ◎ ひな人形飾り日・江戸時代より雨水の日ひな人形を飾ると良縁に恵まれるとの風習。
 片付ける時は一日でも早くと言われている。